

# 学校だより 藤ノ森 特別号

すべては藤ノ森の  
子どものために

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！



平素より、本校教育活動にご理解、ご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。先日実施いたしました令和5年度第2回教育アンケートの結果をまとめましたので、お知らせいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 令和5年度 第2回教育アンケート(児童)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	分からぬ
学校生活は楽しいですか。	68.6%	23.0%	5.5%	0.6%	2.3%
授業がよく分かりますか。	57.1%	34.3%	4.3%	1.0%	3.3%
学校や学級のルールを守って生活していますか。	47.9%	39.8%	8.8%	1.4%	2.1%
授業中、進んで学習に取り組んでいますか。	55.9%	33.9%	5.8%	2.1%	2.3%
授業中、先生や友達の話をしっかり聞き、話していますか	63.9%	26.9%	4.9%	1.2%	3.1%
協力して学習することができていますか。	61.0%	28.3%	6.6%	1.0%	3.1%
家庭で自主学習(がんばり勉強)に取り組んでいますか。	52.2%	28.1%	11.3%	3.9%	4.5%
ていねいな言葉づかいに気を付けていますか。	44.1%	38.8%	10.1%	4.3%	2.7%
進んで元気よくあいさつしていますか。	49.9%	32.4%	11.1%	3.9%	2.7%
自分や人、ものを大切にしていますか。	69.3%	24.6%	3.5%	0.8%	1.8%
掃除や整理整頓をしっかりしていますか。	52.8%	31.2%	9.6%	4.3%	2.1%
進んで体を動かしていますか。	56.0%	26.9%	11.9%	3.1%	2.1%
日頃から読書をしていますか。	45.8%	26.5%	14.6%	8.6%	4.5%
自分の良いところが言えますか。	41.2%	27.7%	12.9%	8.8%	9.4%
学校での出来事を家庭で話していますか。	57.0%	20.7%	10.1%	5.8%	6.4%

### すすんで学ぶ子

今年度、藤ノ森小学校では「対話力」の向上を目指し、学習環境の整備を進めてまいりました。つまり、教師と子ども、子ども同士の「対話を通して」授業を深めていくことが出来るようになっています。「授業がよく分かりますか」「授業中、進んで学習に取り組んでいますか」「協力して学習することができていますか」の3項目では、9割前後の子ども達が「できている(そう思う・大体そう思う)」と答えています。この3つに対応する保護者の項目では、9割以上、中には10割近くも「できている」とお答えになっています。この結果から、前回に引き続き家庭と学校とが子ども達の学習環境を支えていると言えるでしょう。しかし、授業に関する質問項目では、僅かながら「できている」の達成率が第1回目に比べて下がっています。そういう点や、「できていない(あまりそう思わない・そう思わない)」と答えている児童に対しての手立てを考えていきたいと思っています。

「自ら学ぶ、すすんで学ぶ」とは、自分たちが『学びの主役なんだ』という感性を育てることであり、その『学び』が『自己ごと』になることであると考えています。子ども達の『学び』を支えていくように、より一層研鑽を積んでいきたいと思います。

令和6年2月1日 京都市立藤ノ森小学校 校長 東原 幹人

### 令和5年度 第2回教育アンケート(保護者)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	分からぬ
わが子が、楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。	57.1%	42.1%	0.5%	0%	0.3%
わが子の学習の様子をつかもうと心がけている。	46.9%	50.2%	2.9%	0%	0%
わが子がルールを守ることができるように家でも働きかけている。	56.2%	42.4%	1.1%	0%	0.3%
わが子に、進んで学習に取り組むことができるよう働きかけている。	43.7%	47.3%	8.5%	0%	0.5%
わが子に、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	54.0%	42.7%	2.7%	0.3%	0.3%
わが子に、誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	43.7%	48.6%	6.9%	0.3%	0.5%
わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	48.2%	45.9%	5.3%	0.3%	0.3%
わが子に、丁寧な言葉づかいをするよう、家でも言葉づかいに気を付けています。	41.3%	45.1%	12.3%	0.8%	0.5%
わが子が、自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	59.9%	35.5%	4.3%	0%	0.3%
わが子が、人や物を大切にできるよう働きかけている。	59.4%	38.4%	1.9%	0%	0.3%
わが子が、掃除や整理整頓の習慣が身に付くように、家でも整理整頓に努めている。	36.3%	50.4%	11.2%	1.3%	0.8%
わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、機会を持ったりしている。	37.1%	49.1%	12.5%	1.3%	0%
わが子に、本をよく読むようにすすめている。	32.8%	38.7%	22.1%	4.8%	1.6%
わが子の良さを認め、褒めるようにしている。	56.8%	37.6%	4.5%	0.8%	0.3%
おたよりやHP等で学校の様子を知るようにしている。	47.8%	45.3%	6.1%	0.8%	0%
本校教職員が、教育に対して熱意と誠意を持つこと。	55.0%	42.9%	0.8%	0%	1.3%
学校が、子どもの安全確保に気を付けること。	49.0%	48.3%	1.6%	0.3%	0.8%
学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信していること。	53.8%	42.4%	3.5%	0%	0.3%
学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること。	54.4%	41.6%	2.1%	0.3%	1.6%
学校が、家庭や地域との連携を大切にすること。	50.1%	47.2%	1.3%	0.3%	1.1%

### やくそくを守る子

「学校や学級のルールを守って生活していますか」という児童の項目では、87.7%が「できている(そう思う・大体そう思う)」と答えています。高い割合かもしれません、1回目に比べると3.9%下回っています。自己分析がより深まっての数値の変化だとは思いますが、現状に目を向けなくてはいけません。例えばですが、廊下を走る児童は少なからずいます。「廊下は歩く」と知っているが、走ってしまう。走ることの危険性(ぶつかって怪我をする。怪我をさせてしまう)はもちろん子ども達は知っています。子ども達に走る理由を聞くと、「休み時間に早く運動場に行きたい」「つい…」と言います。廊下を走ることだけではなく、様々な場面で「やくそくを守る」ことが、この藤ノ森小学校を、より安全・安心な学校にしていきます。子ども達自身が、自分たちの藤ノ森小学校を安全・安心な学校にするために、何年生であっても、「だめなものはだめ」と自らを律する力を高めていけるように子ども達に支援をしていきたいと考えています。

令和5年度 第2回教育アンケート（教職員）

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	47.1%	52.9%	0%	0%
授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、振り返りを行っている。	35.3%	64.7%	0%	0%
児童がルールを守ることができるよう見守り、支援している。	58.8%	41.2%	0%	0%
児童が進んで学習に取り組むことができるよう働きかけている。	41.2%	58.8%	0%	0%
児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	35.3%	64.7%	0%	0%
誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	58.8%	41.2%	0%	0%
児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。	29.4%	70.6%	0%	0%
教職員自ら丁寧な言葉づかいを心がけている。	47.1%	52.9%	0%	0%
教職員自ら進んで挨拶をしている。	64.7%	35.3%	0%	0%
児童が人や物を大切にできるよう指導している。	64.7%	35.3%	0%	0%
児童が掃除や整理整頓の習慣が身に付くように働きかけている。	47.0%	47.1%	5.9%	0%
児童が進んで体を動かすことができるようすすめている。	35.3%	58.8%	5.9%	0%
児童の読書習慣が定着するように働きかけている。	35.3%	58.8%	5.9%	0%
児童の良さを積極的に見付け、認め、褒めるようにしている。	76.5%	23.5%	0%	0%
各おたよりや HP 等で学級や児童の様子を伝えている。	35.3%	41.2%	23.5%	0%
藤ノ森小学校「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	64.7%	35.3%	0%	0%
児童・保護者の訴え（アンケート結果含む）や相談内容を共有している。	70.6%	23.5%	5.9%	0%

## だれとでもつながる子

藤ノ森小学校では「多様性を認める」ことを大切にしています。多様な他者との出会いが人を豊かにすると考えています。豊かな人間性のもとになるのは、人権感覚・仲間意識・社会性です。人間関係の多様性を認め、つながることができるよう藤ノ森小学校では人権教育を推進しています。

児童アンケート(つながりに関する項目)では、授業に関するこ(話を聞く・話す、協力する)においては約9割の児童ができる(そう思う・大体そう思う)と答える一方で、日常に関するこ(言葉使い・あいさつ)においては、できていると答える児童が約8割と落ち込みが見られます。言葉は人と人をつなげるものであり、子ども達が社会に出た時にも、大切にされるものの一つです。人間関係構築の基本となる小学校の時期だからこそ、言葉使いとあいさつについてはより大切にしていきます。

しなやかで元気な子

冬季になり、雪がちらつくなどとても寒い日もありました。休み時間等、元気に運動場で活動する子ども達がいる一方、なかなか外で体を動かすことが難しい児童もいます。児童アンケート「進んで体を動かしていますか」の項目では、できている(そう思う・大体そう思う)が1回目比べて微増(0.8%)しています。ですが、昨年度の同時期でのアンケートからは数値が悪くなっています。現在、運動委員会が大縄大会やリレー大会を企画し、子ども達に運動の機会をつくっています。

また、変化の激しい社会を生き抜くためには「しなやかさ」は大切だと言われています。困難に直面した時、その困難に対して挑戦しようという意欲をもったり、自分を見直して解決しようしたりして、自分なりの方法で困難を乗り越えていけるよう、心身ともに「しなやか」で「元気」な子の育成を目指します。

## 令和5年度 第2回教育アンケート(地域)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1. 子どもが、すすんで挨拶すること	16.1%	58.0%	12.9%	6.5%	6.5%
2. 本校教職員が、教育に対して熱意と誠意を持つこと	37.9%	48.3%	0%	0%	13.8%
3. 学校が、子どもの安全確保に気を付けること	35.7%	60.7%	3.6%	0%	0%
4. 学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信していること	41.9%	41.9%	3.3%	0%	12.9%
5. 学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること	31.0%	41.4%	6.9%	0%	20.7%
6. 学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること	34.5%	41.4%	13.8%	0%	10.3%
7. 学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること	48.4%	41.9%	6.5%	0%	3.2%

### 自由記述欄（拔粹）

自由記述にはたくさんのご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、教職員一同力を合わせ、今後の教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

- 常に読書習慣について、子どもも教師も保護者も評価が低いように思います。学校の活動として、生活点検週間の特定の日か、毎月一回は家庭読書の日、のような設定をお願いしてみて、その日だけはテレビやゲームをせずに何かしら活字に触れる、という取組をしてみてはどうでしょうか？
  - 確かに、アンケートの読書については、児童・保護者・教師すべてにおいてポイントが低い傾向にあります。頂いた意見を参考に、学校として何ができるかどうかを検討したいと思います。

- 個人懇談会はもう少し時間を長くしてほしい。10分ではせわしなくてしっかり話ができない。先生方もお忙しいので難しいかもしれませんご検討ください。

- ➡個人懇談会は、10分程度とさせていただいている。もし、担任に伝えたいことや相談等ありましたら、事前にお知らせください。可能な限り、対応させていただきます。また、個人懇談会期間中でなくとも、お子様のことで何かありましたら、いつでも担任にご相談ください。よろしくお願ひします。

- 冬場の体育の時に長ズボンを履くことを許可してほしいです。擦り傷が出来ることは仕方がないと思うのですが、寒さで傷口が割れてしまい治りが遅くなっているように感じます。寒冷湿疹も出てしまうので、体育の日は意識してハイソックスを履かせるようにしています。

- 絶対に半ズボンしか認めないわけではありません。それぞれの事情がおありでしょから、まずは担任にお伝えください。しかし、上に着るトレーナーと同じように、何でもよいというのではなく、体育学習に安全に参加できるものにさせていただきます。

- ### ●翌月の行事予定表がもう少し早く欲しい。

- ➡毎月初めに発行しています学校便りには、月予定を載せています。小さいですが、月予定の下部には翌月の主な行事予定も載せています。そちらをご確認ください。(予定が変更になる場合もあります。)

- 参観日で撮影している保護者に注意してもらいたい。

- ➡同様なご指摘がアンケートの度に寄せられます。授業参観では、お知らせにも載せていますが、撮影はご遠慮いただいている。教員が学年通信やホームページのために撮影しておりますが、子ども達の授業への集中力等にえいきょうするため、これからも撮影はご遠慮ください。

紙面の都合上、いただいた課題につきましては一部のご紹介のみとさせていただきました。ご了承ください。